

まちが元気になる まちづくり

●島原半島内の連携強化

半島内の各市などと連携・協力し、半島振興に努める。

・地域高規格道路の実現に向けての啓発活動
・物産振興、観光振興、イベントの共同開催

●産業振興の人材確保

民間人材の有効的な登用を行う。

・農産物や特産物の売り込みのできる人材
・観光と企業誘致に知識と実務力のある人材

●道路網の整備と快適環境づくり

優先順位を整理した上で、主要路線から離れた道路や集落をつなぐ連絡道路などの改良、整備を行う。

●高速通信網の整備とインターネットの普及

高度情報化社会に対応した

6月定例会で議決された主な新規事業

- *防災拠点施設の整備
- *地上デジタル放送に伴う難視聴地域解消事業
- *旧大野木場小学校被災校舎保全対策事業
- *布津ごみ焼却施設解体事業及びストックヤード建設事業
- *地域グリーンニューディール基金を活用した西有家庁舎太陽光発電装置設置事業
- *認知症高齢者グループホームのスプリングクラー設置に對して、国庫補助対象外施設への設置補助
- *農業用機械等導入に対する助成として経営体育成交付金事業費補助金
- *口蹄疫対策として、家畜のえさ代の一部助成
- *布津漁港整備事業
- *9路線の市道改良事業
- *原城マラソン大会(仮称)開催事業
- *世界遺産構成資産を保存管理し、活用していくアクションプランの策定

高速通信網の整備とインターネットの普及の促進

・学校教育における情報教育の充実

●環境と調和した快適なまちづくり

豊かな大地、美しい海や山などの自然、原城跡、日野江城跡、市内に点在するシオサイトなどの市の豊富な財産を、後世に引き継ぐための取り組みを行う。

・趣旨に沿った取り組みを行う市民グループの活動に對して支援を行う。

●市民が主役のまちづくり

市民の声に、しっかりと耳を傾け、必要な支援を行う。市民との協働によるまちづくりを積極的に実現する。

市役所が元気なまちづくり

●行政情報の公開

行政情報を積極的に公開し、市政参加へつなげる。

●行動する職員づくり

地域に足を運ぶ、進んで意見を言う、改善の提言などを積極的にを行う「行動する職員づくり」を行う。

●目標による管理

目標による管理運営制度を導入し、それぞれが主体的に目標の設定、進捗管理を行う。

●副市長の公募

副市長を全国から公募する。深い見識、豊かな発想力および高い行動力とその意欲がある人物を公募することで、経営感覚にあふれた行政運営効率の高い行政執行を実現する。

●支所機能の充実

本庁機能のない地域の支所のありかたの検討などを行い、市の均衡ある発展を目指す。

●行政経営

事業の緊急度を明確にする、自主財源の確保と遊休財産の利活用、維持運営費の精査などを行い、経常経費の圧縮に努める。行政自らが日々削減と改善に努力し、市および市民の利益を追求していく。

新しい教育長・教育委員が就任しました

■教育長

定方 郁夫氏(口津町)



■教育委員

坂上三徳氏(有家町原尾)



よろしくお願ひします。

教育委員任期…平成22年7月2日～平成26年7月1日

— 特集 —

ココロのねっこ



長崎っ子の心を見つめる週間

長崎県のすべての公立学校では、5月から7月の間のいずれかの1週間を「長崎っ子の心を見つめる」教育週間として、教育活動を公開し、保護者や地域の皆さんと子どもたちとの交流を行いました。

子どもたちの「字が姿」を紹介しながら、各学校の取り組みを紹介します。

命ってすごい! 道徳授業公開 - 小林小学校 -

深江町小林小学校では、6月23日(水)、生命の大切さなどを題材に、道徳授業を行いました。公開となったこの授業には、保護者のほか、地域からも市民が参加。保護者からは、「私自身考えさせられました」などの声もありました。なお、市内の多くの学校で、命を考える授業が行われています。



「今の自分があるのはあの人のおかげ」それは、家族だったり、学校の先生や近所のおじさんだったり。皆さんにもそんな「自分の人生に大きく影響を受けた人」がいるのではないのでしょうか。



ココロねっこ運動イメージキャラクター
ココロちゃん

「ココロねっこ運動」とは

ココロねっこ運動とは、人の成長を1本の「木」に例え、「豊かな実」は太い幹に、太い幹は豊かな根に、そして豊かな根は豊かな大地に育つ」という考えのもと、「子ども」の心根つこから健やかに育てるためには台地である大人社会を見直すべき」という理念で、平成13年に誕生した県民運動です。

先述の理念を見てもわかるとおり、「ココロねっこ運動」は、実は、子どもが行う運動ではありません。子どもを見守る「親」そして、地域の運動なのです。

「ココロねっこ」

養分を吸い上げる「豊かなねっこ」が子どもたち、それを支える「豊かな大地」が私たち。とすれば、私たちは、どんな「大地」を目指すべきでしょうか。

10年目を迎える今年、「ココロねっこ運動」では、10項目の重点項目をまとめ、大人一人ひとりが子どもたちに接するときの心構えや具体的な方法を示しています。どれも小さなことですが、みんなが意識して取り組むことで、その効果は大きく違ってきます。次のページから、その具体的な内容をお知らせします。